

人は、人を浴びて、人となす

今春は、何となく雨天・曇天の多いなど感じる春でしたが、今年は5月5日が「立夏」でした。暦の上では、夏がやってきました。苗の植わった水田がちらほら・・・カエルの合唱も聞こえてきます。熱中症等を気にしながらの学校生活となります。保護者や地域の皆さまも、ご自愛ください。

さて、先日、新入生歓迎遠足を実施しました。1年生から6年生まで75人が、8つの縦割り班を編成し、上級生が下級生を導きながら、「千草→西山→奥西山→室→千草」総距離約5kmを歩きました。途中、お寺やお宮で休憩をさせていただいたり、お弁当を食べたり、ちょっとしたゲームをしたり・・・、6年生がうまくりードをしてとても有意義な遠足になりました。

私は所用で、見送りしかできませんでしたが、出発式で「3つの『あ』」の話をしました。

「挨拶」： 地域の方々に、爽やかな挨拶（お礼）を心がけましょう。

「安全」： 交通安全・熱中症などに十分気をつけて帰ってきましょう。

「新しい発見」： 友だちの、ふるさと『ちくさ』の、自分自身の「いいところ見つけ」をしましょう。

早速、保護者や地域の方々から「子どもの声が響いて、うれしいわぁ。」「6年生にとってもやさしくしてもらって、喜んで帰ってきました。」などの意見や感想を寄せていただきました。児童たちも、地域の方々から挨拶を返してもらったり、道を教えてもらったり、「頑張ってるなー」と声をかけてもらったりしたことがうれしかったと、感想を寄せてくれました。

子どもたちが地域の希望となり、また地域の愛情に包まれて子どもたちが成長できている現状をとともうれしく思っています。表題の「人は、人を浴びて、人となす」という言葉（ある人権教育研修会で聴いた言葉）を思い起こす機会となりました。子どもたちは、子ども同士・学校・家庭・地域、とりまくすべての環境の中で、人を浴びて健やかにそしてたくましく成長していることを再確認できました。

長距離を歩いたことがなく、心配されていた保護者もいらっしやいました。中には、朝、気が進まなかった児童もいたかもしれません。お弁当や多めのお茶を持たせていただき、家を送り出していただいた保護者の皆様、児童の長い列にご配慮いただいたドライバーの皆様、声をかけ温かく見守っていただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞよろしく願います。

令和6年5月10日

千種学園

宍粟市立千種小学校長 上山昌秀

※ 以下に、4月のPTA総会で紹介した「アメリカインディアンの教え」を掲載します。

アメリカインディアンの教え

(Children Learn What They Live) ドロシー・ロー・ノルト

子どもたちは、こうして生き方を学びます。

批判ばかり受けて育った子は、

人をけなすようになります。

いがみあう家庭で育った子は、

人と争うようになります。

恐れのある家庭で育った子は、

びくびくするようになります。

かわいそうだと哀れんで育てられた子は、

自分が哀れな人間だと思ようになります。

ひやかしを受けて育った子は、

はにかみ屋になります。  
親が他人に対して嫉妬ばかりしていると、  
子どもも人を羨むようになります。  
侮辱したりけなしたりされて育った子は、  
自分に自信を持てなくなります。  
励まされて育った子は、  
自信を持つようになります。  
寛大な家庭で育った子は、  
我慢することを学びます。  
ほめられて育った子は、  
感謝することを学びます。  
心から受け入れられて育った子は、  
愛することを学びます。  
認められて育った子は、  
自分が好きになります。  
子どものなしとげたことを認めてあげれば、  
目的を持つことの素晴らしさを学びます。  
分かち合う家庭で育った子は、  
思いやりを学びます。  
正直な家庭で育った子は、  
誠実であることの大切さを学びます。  
公明正大な家庭で育った子は、  
正義を学びます。  
やさしさと、思いやりのある家庭で育った子は、  
他人を尊敬することを学びます。  
安心できる家庭で育った子は、  
自らを信じ、人をも信じられるようになります。  
和気あいあいとした家庭で育った子は、  
この世の中はいいところだと思えるようになります。